

北の縄文文化回廊  
に向けたクラブ活動



# 通 信

第 20 号



のぼりができました

## 目 次

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 1. はじめに .....       | 2   |
| 2. 平成29年度活動一覧 ..... | 2   |
| 3. 各活動内容 .....      | 3   |
| 4. 関連活動 .....       | 6～8 |

## 1. はじめに

平成29年度の活動は、会員の皆様のご協力のもと無事終了することができました。私たちは、縄文遺跡群の世界遺産登録を願い、活動してまいりました。「北の縄文CLUB」も発足して20年という節目の年に、北海道地域文化選奨という名誉ある素晴らしい賞をいただきました。これも、参加・協力して頂いた、CLUB会員の皆様の『縄文愛』のおかげだと感謝しております。

これからも、より一層CLUB独自の活動や清掃活動・植栽ボランティア活動・他団体や関係機関と協力連携しながら世界遺産登録を目指し活動していきたいと思っています。

これからも、さらなる縄文文化の普及活動を行っていきます。以下、平成29年度の活動内容を報告します。

## 2. 平成29年度 活動一覧

| 活動日    | 主な活動             | 参加人数 | 活動場所       |
|--------|------------------|------|------------|
| 4月15日  | 大船遺跡清掃活動・粘土づくり   | 12名  | 史跡大船遺跡     |
| 4月22日  | 第20回「北の縄文CLUB」総会 | 11名  | 南茅部総合センター  |
| 7月1日   | 縄文土器づくり          | 10名  | 南茅部総合センター  |
| 8月19日  | 縄文土器野焼き          | 12名  | 大船遺跡体験広場   |
| 9月30日  | アクセサリーづくり        | 9名   | 南茅部総合センター  |
| 10月21日 | CLUB研修           | 10名  | 今金町ピリカ遺跡   |
| 2月4日   | シーニックdeナイト       | 20名  | 縄文文化交流センター |

### (関連活動)

|            |                                      |            |
|------------|--------------------------------------|------------|
| 4月29日      | シーニックバイウエイ北海道 函館・大沼噴火湾ルート<br>清掃活動・植栽 | 縄文文化交流センター |
| 5月19日      | 創生の会総会出席                             | 函館市        |
| 6月10日      | 南かやべひろめ舟祭り 体験コーナー                    | 白尻漁港       |
| 6月21日      | 縄文シティサミット打ち合わせ                       | 消防署        |
| 6月28日      | シーニック総会                              | 函館市        |
| 7月14日      | 北の縄文魅力発信研究会                          | 函館市        |
| 7月19日      | 垣ノ島保存整備委員会                           | 消防署        |
| 7月20日      | 垣ノ島保存整備委員会                           | 消防署        |
| 9月17日      | 第2回縄文祭り                              | 縄文文化交流センター |
| 10月19日     | 垣ノ島保存整備委員会                           | 函館市        |
| 11月10日～12日 | 縄文シティサミットお手伝い                        | 函館市        |
| 11月11日     | 遺跡調査報告会                              | 縄文文化交流センター |
| 11月16日     | シーニックdeナイト会議                         | 大沼         |
| 12月21日     | 北の縄文魅力発信研究会                          | 函館市        |

### 3. 活動内容

#### (1) 清掃活動

4月15日(土)、午前9時半、史跡大船遺跡に集まり、私達と函館市教育委員会の方々のお手伝いもしていただき、史跡大船遺跡内の清掃を行いました。毎年のことですが、馬の糞があらこちらにありました。このような作業も慣れたもので参加された皆さんは「臭い」と言いながら、要領よく動き回っていました。皆さん、大変ご苦労様でした。

植樹されている、栗の木は鹿により樹皮が食べられており、今年は実がなるのか心配です。



ここにもあるわね



おつかれさまでした

#### (2) 第20回総会

4月22日(土)、午前10時、函館市川汲町にある南茅部総合センターを会場として、第20回総会が行なわれました。

総会では、平成29年度の活動や決算についての報告がおこなわれ、出席者のみなさんにご承認をいただきました。続いて新年度の活動計画案や予算案についても、沢山の意見が出ましたがご承認いただきました。総会終了後には、伊達にて撮影された会員出演のビデオをみんなで視聴しました。一日がかりの撮影だったそうです。

### (3) 縄文土器づくり

7月1日(土)、南茅部総合センターにおいて、土器づくりを行いました。今年はテーマを設けず、自由な発想で土器づくりを行いました。

### (4) 土器野焼き

8月19日(土)、大船遺跡体験広場にて、野焼きをしました。下準備から薪をレーンの近くまで運びました。した焼きをしてから、土器をレーンのそばに並べて、さらに水分を飛ばす作業をして本格的に薪をたくさん入れて本焼きをします。焼き上がりは下の画像です。よく焼きあがりました。



下焼きはしっかりと



きれいに焼きあがりました

### (5) アクセサリーづくり

中嶋 瑞季

9月30日(土)函館市川汲町にある南茅部総合センターにて、アクセサリーづくりをおこないました。以前、縄文文化交流センターで勾玉づくりのワークショップに参加して以来の滑石削り体験でしたが、今回はさらに、やすりで文様を削りました。なかなか思うようにいかず、夢中になって2時間、3時間と、あっという間でした。参加者の皆さんとワイワイしながら、時には夢中になって、無言でひたすら削り続けました。



最初に下書きをしま



削っていきます



完成です



手ぎわがよいですね



完成しました

完成した時には、指が痛くてじんじんとしていましたが、とても楽しいひと時でした。滑石は柔らかい石ですがもっと硬い石をも加工していた縄文人はすごいですね。縄文人のすばらしさを改めて感じる事ができました。

#### (6) 研修会（ピリカ遺跡へ）

10月21日、今金町ピリカ遺跡への研修会です。新函館北斗駅に集合し、事務局員の手配でレンタカーに乗り、今金町へと向いました。途中、八雲町にある郷土資料館に立ち寄りしました。縄文時代の土器展示なども見学し、写真を撮ったりしました。ちょっと時間オーバーして、急いで今金へと向いました。到着後出迎えていただいた、今金町教育委員会の学芸員である宮本先生に館内の説明や旧石器文化館も見学しました。

#### 真壁秀文

1万年～2万年前の旧石器時代で、国の史跡とは、知りませんでした。また、日本最古の装身用玉製品は、大陸から来たらしく、遠くからご苦労様でした。矢ジリなどに使われる黒曜石は北海道各地から運ばれ、ピリカで加工されていたようです。鹿の角で黒曜石の矢ジリづくりを経験させていただき、思い出の初体験となりました。石器の加工技術を一番初めに、行った古代人は、「どうしてわかったのだろう」と古代人の知恵に感心した1日でした。



ピリカ遺跡にて

#### (8) シーニックdeナイト2013（シーニックバイウエイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート）

平成29年2月5日（日）、函館市縄文文化交流センター周辺にて、シーニックdeナイトが開催され

ました。今年は雪が多く、当日も大雪になり、雪像づくりに参加したいのですが、家の雪かきに追われ、参加できない人が多かったようです。しかし、何人かで頑張って国宝中空土偶の雪像を作りました。北の縄文CLUB自慢のでっかいカックウの雪像が完成しました。キャンドルライトも幻想的でした。



明かりが灯ると、いいですね～

## 4. 関連活動

### (1) 縄文祭り

9月27日(日)、函館市縄文文化交流センター広場前にて、第2回目の「縄文祭り」が開催されました。広場では南茅部高等学校書道部によるパフォーマンスや茂呂剛伸さんによる縄文太鼓の演奏等、北の縄文CLUBは火起こしや弓矢的的当てなど、子供ばかりではなく、大人の人達にもとても好評でした。他にも縄文服を着てみるなど、来場された方々は、いつしか縄文ロマンに想いを馳せていました。

## (2) 黒曜石にみせられて

高谷友美

3・4年前、今金町の“ピリカ旧石器文化館”にて、黒曜石で石器を作ったことがあった。鹿の角をハンマーとし、石器を作っていく工程を逐一詳しく論理的に教えていただいた(宮本さん、ありがとうございます)にも関わらず、全くできず。「石器づくりは縄文時代、男性の仕事だったと聞くし、私は女性であるからできなくてもいいや」と思った。しかし、黒曜石自体はとても魅力的である。天然ガラスであり、英名を“オブシディアン”と称しパワーストーンの一種として知られているものである。「黒い」ということもあってか、魔よけの効果があるそう。もちろん、縄文時代の石器にも使用されているが、ナイフなんかは意外と女性へのお守りとしてのプレゼントだったりして(私も欲しいです。)そんな天然モノの黒曜石が拾える場所がある、というので5月29日(晴天)、北の縄文CLUB有志・現代に生きる先輩縄文人(大宮会長・櫻井さん・中浜さん)とわたし・高谷は胆振の豊浦町に向かったのである。なお、黒曜石は珪酸( $\text{SiO}_2$ ・ガラス)質の溶岩が急速に冷却されるといふ条件下で生成されたと考えられている。岩石学的には流紋岩の一種であり、黒曜岩というのが正しいらしい。それはさておき、豊浦町内を流れる豊泉川の支流流域を探る。先輩縄文人さんに先導され、葉ワサビが自生するきれいな小川の川縁に下りる。かつてここまで水位が上がっていたのか岸が少しえぐれた地形のところ、炭化した葉とともに光沢のある、親指の爪くらいの黒いモノが数点確認できた。拾い上げてみると、思っていたような深い黒ではなく、淡い黒、むしろ葉に近い。先輩縄文人さんから「質の良いものではない」と事前に聞かされてはいた。だが、ガラス質の淡い黒の中に、さらに黒い炭のようなツブツブがあり、この不均等さがまさに、“原石”という感じがして、より魅力的にみえるのであった。もう、夢中で探す。やはり大きなカタマリを手してみたいものだ。欲が出て、川の中にある黒い石が全て黒曜石に見えてしまうが、そう甘くはない。黒曜石は少し角張っているのが特徴で、見た目はそれほど普通の石と変わらない。しかし、角をちょっと欠いてみるとガラス光沢の破面がかおを出し、それはTHE黒曜石のかおである。あっという間に30分くらいが経ち、細かいものが十数点、握りこぶし半分くらいのカタマリも数点拾えたので大満足。加工しなくても鋭さの見えるものもあり、いつまでも飽きずに見ていられるその輝きは、現代人の私も、そして縄文人をも魅了する力が確かにあると、感じられた。行程では、故郷石拾いだけではなく、まったく鳴かなかった長万部町の静狩峠鳴き砂海岸(笑)、絶景の礼文華海岸、山の際にある静狩貝塚(縄文後期初頭)、八雲町の郷土資料館&木彫り熊資料館なども訪れた。今回は、縄文人や先人の足跡を辿ることが私の新しい糧となる、そんなとても素敵で楽しく充実した、いわば“”学習遠足”であった。最後に、企画・先導して下さった先輩方、本当にありがとうございました。ぜひ、またよろしくお願ひします。

## (3) 北海道地域文化選奨を受賞して～北の縄文CLUB20年の歩み～ 会長 大宮トシ子

早いもので、CLUBが設立して20周年を迎え、会員は道内外を含めて約50名です。この度、北海道地域文化選奨という名誉ある賞を頂きましたこと、会員はもちろん地域の皆様と共に、この喜びを分かち合っております。平成8年に大船遺跡が本格的に発掘調査され、その時に三内丸山遺跡に匹敵する大規模集落跡だということが大々的に報道されたことがきっかけとなり、縄文文化を活用した町づくりを進めようと私達発掘作業員を中心に平成10年4月に当CLUBが設立されました。

設立当初には、200人を超える土器づくり大会と野焼きを行いました。その他には、アンギン編み、石器づくり、釣り針づくりなどを実施しました。なかでも漁港での釣り体験では実際に釣れたこと

にとっても感動しました。近年の主な活動としては、毎年土器づくりと野焼き、春には大船遺跡周辺の清掃活動を行っています。他団体との連携としては南茅部地域で毎年行われている南茅部ひろめ舟祭りや函館市縄文文化交流センターの縄文祭り、シーニックバイウエイのシーニックdeナイトなどに参加しています。また青森県の三内丸山応援隊など地元の遺跡を応援する団体との交流もしています。今後も地域との連携を一層深めて縄文の魅力を発信して「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界遺産登録」を目指して頑張っていきたいと思っています。



北海道地域文化選奨の賞状と副賞のブロンズ像



会長の発表に聞き入っています

喜びを分かち合いました

2018年6月30日 第20号発行  
 発行 北の縄文CLUB  
 連絡先 北海道函館市白尻町 603-1  
 一般財団法人  
 道南歴史文化振興財団内  
 TEL 0138-25-5510  
 FAX 0138-25-5606